

授業科目名 <英訳>		中毒学入門 Introduction to Toxicology			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 教授 小泉 昭夫				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	水4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
I. コースの概要 化学物質の健康影響を考える学問として「正」の面を扱う薬理学と「負」の面を扱う中毒学がある。本コースでは、環境汚染物質や身近にある金属、有機物質の毒性を有名な事件や古典を題材として考察し、初級中毒学を学ぶ。本年度は、984年に丹波康頼により書かれた、医学書の最高傑作といわれる「医心方」を「学び」の教材として扱い、本書に記載された中毒現象を考察する。「医心方」の読解は、人文研の武田時昌教授より指導を受ける。 予習の必要はありませんが、高校化学の知識は必要です。題材から事件を推理するのではなく、現代化学文明の獲得した利便性の、ヒト健康に及ぼす負の作用を考えます。 ケーススタディをもとに、毒性のメカニズムを教授しますが、自らも考え、積極的に意見発表を行ってください。											
<b>[到達目標]</b>											
II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること） ・医学書として「医心方」に触れることで医学史を学ぶことができる ・化学物質の毒性を知ることができる ・医療社会学を学ぶことができる ・毒物に関して、症状やメカニズムから文献検索ができる。 ・症状と経過から毒物のメカニズムを予想できる。毒性学の概要を知ることができる											
<b>[授業計画と内容]</b>											
コース予定・内容 第1回 4月8日オリエンテーション 第2回 4月15日医心方を読む-(1) 概説・読み方（武田） 第3回 4月22日医心方を現代医学で読む 第4回 5月13日アルコールの毒性と遺伝(小泉) 第5回 5月20日産業による環境汚染物質～水俣病、エコトキシコロジー(原田) 第6回 5月27日痛みのメカニズム・麻薬と神経(小泉・奥田) 第7回 6月3日医心方と現代医療、治療薬としての砒素(武田・小林) 第8回 6月10日タリウム殺人事件、大学研究施設内での化学物質管理(小泉) 第9回 6月17日トリカブト殺人事件- (1)、毒物相互作用の知識(小泉) 第10回 6月24日トリカブト殺人事件- (2)、フグ毒(小泉) 第11回 7月1日地下鉄サリン事件、有機リン化合物と拮抗剤(小林)・、ネオニコチノイド農薬（原田） 第12回 7月8日麻薬の毒性、大麻と肥満(原田) 第13回 7月15日医心方を読む-(2) グループディスカッション 第14回 7月22日医心方を読む--(3) グループディスカッション・講評 第15回 8月5日予備日（講義内容未定）											
中毒学入門(2)へ続く↓↓↓											

## 中毒学入門(2)

試験 7月29日

### [履修要件]

MPH選択

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点（出席と質問等の積極性を含む）50%、試験50%

### [教科書]

講義中の配布資料

### [参考書等]

(参考書)

### [授業外学習（予習・復習）等]

III. 教育・学習方法

- ・パワーポイントスライドによる講義
- ・適宜、ビデオやスライドを使用します

### (その他（オフィスアワー等）)

その他メッセージ

後期の「中毒学」および「On the Bench Training」を受講するためには、この講義を受講することが必須です。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限10人まで可能

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。